

金鳳齡氏博士論文 審査報告

博士論文審査委員会委員

主査 寺村政男 大東文化大学教授

副査 蔵中しのぶ 大東文化大学教授

副査 丁 鋒 大東文化大学教授

副査 安保博史 群馬県立女子大学教授

博論講評

(同氏履歴・業績は別紙参照)

題名 東アジアにおける水の呪力と水の女—「洗濯する女」の文学史—

同博論は以下章立てで構成されている。

博士論文の構成

序章

第一章 日中における水の呪力と水の女

第一節 水の呪力及び水の女について

- 一、水の呪力及び水の女についての先行研究
- 二、水の女とは—折口信夫の「水の女」論を中心に

第二節 中国における水の呪力と水の女

- 一、中国における水の呪力
- 二、中国における水の女

第三節 日本における水の呪力と水の女

- 一、日本における水の呪力
- 二、日本における水の女

第四節 日、中における水の呪力と水の女の比較研究

- 一、日中における水の呪力と水の女の比較研究
- 二、日本における水の女の系譜研究

第二章 日本の御伽噺における水の呪力と水の女の伝承

第一節 日本の御伽噺における水の呪力と水の女の伝承—其の一、「瓜子姫」について

- 一、「瓜子姫」の研究史
- 二、「瓜子姫」の版本研究と物語の流れ
- 三、東アジアにおける瓜の霊力
- 四、「瓜子姫」に見られる水の呪力と洗濯する女の伝承

第二節 日本の御伽噺における水の呪力と水の女の伝承—其の二、「桃太郎」について—

- 一、「桃太郎」の研究史
- 二、「桃太郎」の版本研究と物語の流れ
- 三、東アジアにおける桃の霊力
- 四、桃太郎に見られる水の呪力と水の女の伝承

第三節 日本の御伽噺における水の呪力と水の女の伝承—其の三、「たにし息子」について

- 一、「たにし息子」の研究史
- 二、日本全国における「たにし息子」
- 三、「たにし息子」に見られる水の呪力と水の女の伝承

第三章 東アジアにおける洗濯する女の伝承

第一節 中国における洗濯する女

第二節 朝鮮半島における洗濯する女

第三節 日本における洗濯する女

第四節 東アジアにおける水の女の系譜

終章

附表一

附表二

講評

良く知られている「七夕伝説」が広く東アジア全域（日、中、韓）に少しずつ形を変えて流布しているように、現在の国家領域という枠を外して考えてみても、東アジア全域に流布する民話、伝説、御伽噺は共通性を持ったものが多くみられる。

例えば広くツングース民族に伝わる『尼山薩蛮物語』は、不思議なほど日本の『桃太郎』の物語と多くの共通性を持つ。又同書が本来は素朴な裕福な一族の子弟の魂をシャーマンが冥界に取り戻しに行くと言う素朴なツングース固有の物語から、各写本を時代別に並べてみると次第に周辺の漢民族文化からの影響を受けて儒・佛二経の影響を色濃く受けて行き、逆に素朴なツングース文化が薄められてゆくように、各物語も当然のことながら、国や地方或いは時代によって様々な思想的影響や地方色によって演変を重ねてゆく。

これらの事象を一つ一つ丁寧に除去してそもそもの原典を比較検討してゆくには、語学的にも多様な能力が必要である。金氏は日、中、韓の三言語に習熟しており、三カ国の言語文化学的視点より俯瞰的にこの問題を扱える優位な立場にあると言えよう。

第一章 日、中における水の呪力と水の女

本章では日、中における水の呪力と水の女の伝承を概観し、比較検討を施している。

第一節は、日中両国における水の呪力、水の女についての先行研究を詳しく考察し分析し、水の女概念を明らかにし、水の女の比較検討の必要性と重要性を述べている。

第二節は、中国の古典籍や民間の神話、伝説の中の水の呪力とそれにかかわる水の女の系譜を辿り、その特徴をまとめた。

第三節は、日本における水の呪力とそれにかかわる水の女の系譜を辿り、その特徴をまとめている。

第四節は、日中における水の呪力と水の女の比較研究を行い、従来の日本における水の女についての系譜研究を辿り、日本における水の女の系譜研究には取り扱えなかった出産、誕生を助ける水とかかわる水の女の研究を研究課題として提起している。

以上纏めれば、第一章では主として、日中の水の呪力と水の女の伝承について概観し、比較研究を通して、従来の研究で本格的に論じられなかったこと、即ち、日本にも出産、

誕生を助ける水の呪力とその力を負う水辺の女が存在することを証明している。

本章では「水の呪力と女性」という視点から日中比較を基軸にして、先行研究を収集分析して、水の持つ呪力的特性を具体的資料に基づいて分析し、その分析から独自の見解を述べている。

第二章 日本の御伽噺における水の呪力と水の女の伝承

本章では日本で人口に膾炙した御伽噺における水の呪力と水の女の伝承について論じている。「瓜子姫」、「桃太郎」、「たにし息子」を中心に出産、誕生、治癒、再生の力の水と水の女の伝承を実証的に考察している。御伽噺は各地方に流布してゆく過程で、少しずつ話の内容が違っている事を実証した。

第一節では、「瓜子姫」にみられる水の呪力と水の女の伝承を考察した。具体的には、現在までの「瓜子姫」の研究史を辿り、文献に記載された「瓜子姫」の版本研究を行い、東アジアにおける瓜の霊力を探っている。そして、口承としての「瓜子姫」の全国におけるすべての類話を集め、いくつかの項目に分けて地域分布表を作り、統計した上で、瓜子姫の誕生モチーフにおける水辺の女と水の呪力の伝承を新しい視点で探求している、約533話収集し、詳細な表を作成している。

第二節は、「桃太郎」にみられる水の呪力と水の女の伝承を考察している。先行研究を踏まえたうえで、先行研究にはあまりみえなかった水辺の女、洗濯する女の伝承を見出した。第一節と同じく、詳細な版本研究の上で、東アジアにおける桃の霊力を探り、全国の「桃太郎」の地域分布を統計し、具体的な数値と分布表で「桃太郎」にも出産、誕生の力とかかわる水辺の女、洗濯する女の伝承があるのを実証している。金氏は約385話収集し、表にまとめている、今後の資料として貴重なデータベースを構築したと言えよう。

第三節は、「たにし息子」を中心に、全国的類話の分布を表にし、物語の中に出産、誕生、治癒、再生の水の力と水の女の伝承があることを探求した。この三節を通じて、主に日本の御伽噺に伝承されている洗濯する女の存在を論証し、日本においても水辺の女、洗濯する女が水の呪力による出産、誕生の伝承が見える事を論証した。

第三章 東アジアにおける洗濯する女の伝承

本章では東アジアにおける洗濯する女の伝承を、日本における伝承を軸に、朝鮮半島及び中国の伝承との比較研究を行っており、本博論の中核部分と言える。論証は精緻で、資料の取り扱いに独自の判断が見られ、出している結論は概ね妥当である。

第一節では中国における洗濯する女、水辺の女の系譜を作り、洗濯する女の意味を明らかにし、神話、伝説、文学作品にまで洗濯する女の系譜に検討を加えている。

第二節では日本御伽噺の中の「瓜子姫」、「桃太郎」と類似する朝鮮半島の洗濯する女と水辺の子授けの伝承を概観し、さらに朝鮮半島の文学史や高麗歌謡、美術史の中で洗濯する女と水辺の子授け、縁結びを論じ、朝鮮半島における洗濯する女の系譜を作成している。今後の研究に対して重要な効果を生むであろう。

第三節では、日本上代から近世までの洗濯する女の伝承を禊による子授け、縁結びの観点から読み直した。従来の学説を踏まえて、洗濯する女、水辺の女の伝承は古事記から始まり、御伽草子まで繋がっていることを証明した。本稿では言及しなかったが、昔話「天人女房」の話にも洗濯する女の伝承は明確にみられるのである。と結論付けている。

第四節では比較神話、民俗学、文化人類史の視点から、「洗濯する女」という詞をもう一回辿り、体系的に東アジアにおける洗濯する女、延いては水の女の系譜を改めて定義している。

本論考は三章にわたり、日本における水の女の系譜には、出産、誕生の呪力をもっている水とかかわる水の女の伝承があり、日本における水の女の系譜を再構築して直している。また、東アジア全般にわたって「水の女」である洗濯する女の伝承をたどり、東アジアにおける「水の女」の系譜には、古代から水辺における子授け、縁結びとかかわる洗濯する女の伝承があることを証明した。そして、これら洗濯する女の伝承は、古く、古代の中国の水辺の禊ともかかわっていることを論証した。また、女の「洗濯」ということは、水神或いは水の呪力を受ける行為となり、洗濯には単なる衣服を洗うのみでなく、体を洗うのも含まれ、延いては禊が含まれることになるのである。即ち、洗濯する女は水辺の禊ともかかわるのであり、水の呪力は禊をとおして水辺の女に作用したと考える。

総じて、東アジアにおいて、洗濯する女は水の出産、誕生を助ける力を具現していると同時に、引いては水の豊饒をもたらす力を現している。そして、それは、水脈のように日本、朝鮮半島、中国などの神話、伝説の中で潜み、水辺の女の系譜の一環として、洗濯する女として伝承されていることが分かる。日中韓にわたり俯瞰した論証は先行研究も少なく、本論文により新たな視点が開かれたことは評価に値する。詳細な附表 1、2 は金氏の今後の研究に有益な資料となると信じる。

3. 結論

以上の審査内容、評価に基づき、本論文を審査対象とする学位論文審査委員会は、全員一致をもって、本論文は博士（日本語文化学）の学位を授与するに値するものと判断し、ここに報告する。

以 上